

## 自己評価および外部評価結果

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                     | 自己評価                                                                                        | 外部評価                                                                                                                                      |                                                                                                                                      |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            |     |                                                                                         | 実践状況                                                                                        | 実践状況                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                                                    |
| I.理念に基づく運営 |     |                                                                                         |                                                                                             |                                                                                                                                           |                                                                                                                                      |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                      | 「笑顔・まごころ」で日々職員は接し、利用者は希望や思いがかなえられるよう、「笑顔・満足」で日々過ごせるよう心がけている。                                | 理念は事業所開設時に全職員で話し合い作り上げた。その理念を現在も大切に、利用者支援の柱として、職員間で共有を図りながら実践に繋げている。また玄関やエレベーター内等、目に付きやすい場所に掲示し、職員間で意識しながら支援に努めている。                       |                                                                                                                                      |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                      | 市報や祭りの案内状が配られたり、登下校の子供たちに声を掛けたりしている。<br>地区の祭りや神輿が来てくれた際には入居者代表の方がお祝いを渡したりしてもらっている。          | 朝夕、道路に面したテラスより、登下校の子供達や、地域の人達に挨拶が出来るのを楽しみとしている。また夏祭りの際は、御神輿の休憩所として駐車場を提供し、地域の一員として共に祭を楽しんでいる。地域ボランティアについては、慎重に検討しながら受け入れに向け、取り組んで行く予定である。 | 地域との付き合いは、テラスからの挨拶や散歩時に声をかけてもらう等、定着して来ている。しかし近隣に対して、事業所側からの働きかけや、発信の機会は少ない状況が窺える。今後は防災訓練等、行事の活用を通して、近隣を巻き込みながら、事業所側からの発信、働きかけに期待したい。 |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                    | 中学生の体験学習やボランティアが増えました。中学生には事前学習をしてきてもらい最終日には「楽しかった、介護の仕事に興味を持った。」などの言葉が聞かれている。              |                                                                                                                                           |                                                                                                                                      |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 地域役員の方々が納涼会で盆踊りを盛り上げて下さった。市の包括の職員の方からは口腔体操や筋力保持の工夫などを聞き、ホームで生かされている。区の方が毛虫の駆除にすぐに対応してくださった。 | 会議は隔月毎に開催され、会議録には意見交換の内容が丁寧に記載されている。家族、区長、民生委員、市職員の参加があり、利用者への対応について意見をいただき、日々の利用者支援に活かしている。地域の一員として、利用者からも会議に出席してもらい意見を聞いている。            |                                                                                                                                      |

| 自己 | 外部    | 項 目                                                                                           | 自己評価                                                                                       | 外部評価                                                                                                                                                |                   |
|----|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |       |                                                                                               | 実践状況                                                                                       | 実践状況                                                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5  | (4)   | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 地域密着型サービス区分の会議には情報交換や悩みなど解決に向けた手立てが得られる。                                                   | 介護保険係、地域包括支援センターの職員とは、地域ケア会議や地域密着サービス区分会議を通して、連絡を密に取り合っている。年3回、交流会に利用者と一緒に参加、演芸等を楽しんでいる。困難事例の相談は無かったが、骨折事故では、改善に向けた助言をもらうなど、関係作りに努めている。             |                   |
| 6  | (5)   | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアについて、指針の周知や身体拘束をしないケアを可能な限り取り組んでいる。帰宅欲求の強い方の危険回避に職員が悩んでいる。                       | 身体拘束についてはマニュアルが整備され、不適切ケアについて、年2回、研修会に参加した職員が職員会議の際に復命し、全職員への周知徹底を図っている。センサーは入居者の半数位の方が流動的に使用されているが、その際は家族に説明を行うとともに、記録に残している。                      |                   |
| 7  | (5-2) | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 学ぶ機会を持ち、虐待防止に努めている。また、虐待に当たるような対応とは何か、折にふれ、確認したり、未然に防止できるよう、日々の対応に職員同士、話し合ったり、注意し合ったりしている。 | 虐待防止マニュアルについては施設独自のものは作成されていないが、認知症介護研究研修センターの冊子を施設マニュアルとして繰り返し読み込み活用している。また、管理者は職員の状況を把握しながら適時指導している。現在は虐待が起きた時のフローチャートも含め、全職員でマニュアルの作成に向け検討をしている。 |                   |
| 8  |       | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している   | 必要性のある方に対して支援を受けている。社協と協力しながら成年後見に結び付けることができた方がいる。                                         |                                                                                                                                                     |                   |
| 9  |       | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | 契約時に説明・理解を図るように努めている。改定時には、説明文書や同意書を得ている。特に看取りについても開始時だけでなく、契約時にも丁寧に説明をするようにしている。          |                                                                                                                                                     |                   |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                                       | 外部評価                                                                                                                          |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                                       | 実践状況                                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 運営推進会議の時に、生活をより楽しめる工夫や方法を伺ったり、入居者や家族の面会時などに要望や意見を聞かせてもらうこともある。                             | 家族から「ここは寒くて」と要望として上がり、事業所としてホットカーペットの設置を速やかに行った。また、民生委員より、地域の方から、外出時の付き添いボランティアの要望があり、それらの意見を事業所の運営に活用出来るよう努力している。            |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月定例の職員会議の後の常勤会議を開催し、2つの事業所と代表者が集まり、職員の意見や提案を聞いてもらう機会があるのでその場で、すぐに改善あるいは、対応が得られている。        | 職員からの要望は毎月開催される会議や、介護主任を通して上がって来る意見に対し、管理者が丁寧に対応に努めている。検討が必要な案件は、法人2事業所合同での会議や、経営会議等で慎重に検討され、結果は職員会議を通して伝えるなど、働き易い職場作りに努めている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員個々が資格取得や、講習会や研修会などの参加に声をかけたりしている。資格によっては手当などあり、働く意欲につなげていけるように努めている。                     |                                                                                                                               |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修に参加したら受講報告書や資料など、回覧だけでなく職員会議の時などに報告する機会を持ち、職員が情報共有できるようにしている。外部研修にもっと出られる機会があったらと、声があった。 |                                                                                                                               |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 交流の機会が少ない。しかし年1回ではあるが、勉強会や研修会が夜に開催されるので参加しやすい。                                             |                                                                                                                               |                   |

| 自己                  | 外部    | 項 目                                                                                  | 自己評価                                                                                | 外部評価                                                                                                                                                |                   |  |
|---------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|                     |       |                                                                                      | 実践状況                                                                                | 実践状況                                                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |       |                                                                                      |                                                                                     |                                                                                                                                                     |                   |  |
| 15                  |       | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前に家族などから様子や状態を伺い、サービス導入に不安・心配を受け止め、安心につなげられるよう、関係づくりをしている。またいつでも聞ける体制ができるよう配慮している。 |                                                                                                                                                     |                   |  |
| 16                  |       | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居前にも他サービスの利用が多い中で、利用の状況や様子を聞いたり、家族等の苦労や不安、要望などを伺ったりしている。                           |                                                                                                                                                     |                   |  |
| 17                  |       | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 希望、要望、不安や心配なども伺いながら、そのために必要な支援を提案している。                                              |                                                                                                                                                     |                   |  |
| 18                  |       | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 本人ができることやれることを探し、発見できたことは共有し、その人を深く知る手立てとしている。得意なこと、生き生きとする場面作りを大切にしている。            |                                                                                                                                                     |                   |  |
| 19                  | (7-2) | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ぶなの里通信では写真やコメント欄が限られているため面会時などに様子を伝え、家族の思いも大切にし、必要なものには了解を得、用意してもらうなどしている。          | 日頃の様子を3ヶ月に1回、「ぶなの里通信」として家族に送付し、全利用者の顔が掲載されるよう配慮している。また、面会時に家族からの意見や要望を丁寧に汲み取り、利用者支援に活かしている。受診は主治医が協力病院の場合は事業所対応としているが、その他は家族と相談しながら、共に支え合う関係を築いている。 |                   |  |
| 20                  | (8)   | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 兄弟・本家など、親戚の方の面会がある方もいるが、次第に減ってきているのが現状である。                                          | 馴染みの床屋等に以前は利用していたが今は居られない状況である。近くに住む友人の面会があり、入所後も関係は継続している。家族と一緒に墓詣りに出掛けたり、外泊をしている方も居られる。事業所より家族宛てに行事の案内を出すなど、今後も関係が途切れないよう、利用者の思いを汲み取りながら支援に努めている。 |                   |  |

| 自己                                 | 外部    | 項 目                                                                                                    | 自己評価                                                                                          | 外部評価                                                                                                 |                   |
|------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |       |                                                                                                        | 実践状況                                                                                          | 実践状況                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |       | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | その方の性格や思い、状況をとらえ、悪化しないよう、またはその場面を大切にしながら、職員が引いたり、誘導したりしている。                                   |                                                                                                      |                   |
| 22                                 |       | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 移り住む先の関係者には、本人様の情報をできるだけ詳しく伝えたり、その後の様子についても聞かせてもらうこともある。                                      |                                                                                                      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |       |                                                                                                        |                                                                                               |                                                                                                      |                   |
| 23                                 | (9)   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 一人一人の思い、希望、要望等が明確に話して下さるので把握しやすい。困難な人には、日常の会話の中や繰り返し発せられた言葉や話を大切に職員が共有し、検討し把握に努めている。          | 入浴時など普段の関わりの中で、さりげなく思いや希望を聞くようにしている。意向を伝えるににくい方には、少ない選択肢の中から選んでもらうなど工夫しながら、個々の想いを把握出来るように努めている。      |                   |
| 24                                 | (9-2) | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 本人あるいは、サービス担当者や家族から情報を得ていることを共有し、プライバシーに配慮しながら生活の中で取り入れたりしている。                                | 入居前に家族やケアマネージャーから情報を得ている。入居されてから得た情報も多く、本人の出来ることであったり、お茶飲みや散歩など、これまでに行ってきた習慣を今後も続けていけるように支援している。     |                   |
| 25                                 |       | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | その人のできる力を理解し、それを役割としたり、継続的にやってもらったりして、暮らしやすいように時には個別対応であったり、不穏になる方には、働きかけの方法を試行錯誤しながら取り組んでいる。 |                                                                                                      |                   |
| 26                                 | (10)  | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の思いや家族の意向を聞きながら、状態変化にも見直しやモニタリングを行い、よりよいケアに結び付けられるようにしている。。                                 | 毎月の職員会議でのサービス担当者会議や、休憩時を利用しての職員間の情報共有等、計画作成担当者を中心に介護計画の作成やモニタリングを行っている。また、面会時に家族の意向を伺い介護計画書に反映させている。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                 | 自己評価                                                                                  | 外部評価                                                                                                                  |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                  | 実践状況                                                                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                                     | 関わった職員が記録に適宜記入し、一人一人の情報を、変化のあった時はすぐに見直し、共有している。                                       |                                                                                                                       |                   |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 本人の状態や家族等の思いに柔軟に、また状況に応じて通院、送迎等対応している。必要な物なども家族ができないときは代行したりしている。                     |                                                                                                                       |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 運営推進会議に地域の区長さん、民生委員、介護保険係、地域包括の職員の方などの参加により、地域の情報やサービス内容に関する評価、助言などで役立たせてもらっている。      |                                                                                                                       |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 事業所の協力医のほかの受診など、ご家族と協力している。                                                           | 以前は本人の希望もあり、入所前の医療機関にかかっているもいたが、事業所の協力医療機関が往診や訪問看護を行っていることもあり、現在はかかりつけ医を変更されている方が多い。週に1回、訪問看護による健康チェックを受けながら医療に繋げている。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 週1回の定期的訪問看護による健康管理、医療面での相談・対応などを行っています。24時間オンコール体制にあり、体調の変化に報告を行い医療につなげてもらうことがスムーズです。 |                                                                                                                       |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院との連絡会議にも出席させてもらい、関係作りに努めている。入院時には病院の地域連携室や担当看護師とこまめな情報交換や相談を行っている。                  |                                                                                                                       |                   |

| 自己                               | 外部     | 項 目                                                                                                               | 自己評価                                                                             | 外部評価                                                                                                                                           |                                                                                                          |
|----------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  |        |                                                                                                                   | 実践状況                                                                             | 実践状況                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                        |
| 33                               | (12)   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時には重度化や看取りについて、事業所指針を用いて、本人、家族等からの意向確認を取り、またいつでも意向の変更についても思いや変化に対応できるよう説明している。 | 本人や家族が最後までを望むことが多く、事業所指針やマニュアルを整備し重度化・看取りに対応している。訪問看護事業所の24時間対応体制は本人ご家族から安心との声も多く、職員にとっても安心して働くことの出来る環境の一つとなっている。                              |                                                                                                          |
| 34                               | (12-2) | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                            | 職員は定期で消防署の協力を得て訓練に参加し、体験・習得してもらえるよう、出来るだけ参加してもらっている。                             | 定期的に消防署の救命講習を受けており、今年も12月に予定されている。また、転倒・行方不明・誤薬・急変の事故対応手順マニュアルの整備や、職員からの意見で電話近くに発生時のフローチャートを貼るなど工夫して、緊急時に備えている。                                |                                                                                                          |
| 35                               | (13)   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                            | 2ヶ月1回の自主消防訓練の他、消防署の立会いのもとに、訓練を年1回実施している。                                         | 2ヶ月に1度避難訓練を行い職員の防災への意識付けを図っている。夜間想定でも年に1度訓練を行っている。緊急時の地域の避難場所は職員全員が把握しており、実際に行ってみるなど対策している。食糧備蓄は今現在、利用者、職員併せて4食分を緊急用として備えているがヘルメットの設置は無い状況である。 | 火災以外に想定される様々な災害を想定した訓練の実施や、近隣住民との協力体制の構築が望まれる。緊急連絡網を実際に使った訓練や、備蓄食料の増量やリストの作成、ヘルメット等、備品の整備など、より良い対策が望まれる。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |        |                                                                                                                   |                                                                                  |                                                                                                                                                |                                                                                                          |
| 36                               | (14)   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                                                    | 周囲への配慮や本人の気持ちを大切にしながら対応している。                                                     | 本人の気持ちを大切に、個々の気持ちに配慮した話し方・接し方を心がけている。不適切な言い方だと感じた時は職員同士でその都度注意しあい、お互いに気をつけながら、人格に配慮した言葉かけに努めている。                                               |                                                                                                          |
| 37                               |        | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                                                      | その方の力に応じた言葉かけにより、自己決定や意見が言えるような働きかけを気にかけている。                                     |                                                                                                                                                |                                                                                                          |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                              | 自己評価                                                                                                     | 外部評価                                                                                                          |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                  | 実践状況                                                                                                     | 実践状況                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 大体の一日の流れはあるが、柔軟に参加してもらっている。自分のペースで過ごせる人もあれば、そうでない人もいるので、様子をみながら誘いかけや希望を聞いてみたりしてやりたいことに取り組めるようにしている。      |                                                                                                               |                   |
| 39 |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 外出時や着がえなど、個別に合わせた支援や散髪時にも、希望を自分で伝えてもらったりしている方もいる。                                                        |                                                                                                               |                   |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている     | 盛り付けや皮むき、野菜の刻み、味付けや調理法を聞いたりしながら職員と一緒にできることをやってもらっている。                                                    | 行事食を計画し、一緒に作るなど食事を楽しむ工夫を実践している。また、下ごしらえや盛り付けなど出来ることを行ってもらっている。食後の食器をシンクに運ぶ方やテーブル拭きをする方など、日々の役割として自然な流れが出来ている。 |                   |
| 41 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 申し送りなどではその日の体調など情報共有して、次の食事につなげている。管理栄養士による研修も行っている。水分摂取には特に気をつけOSIを作り、不調時あるいは浴後などに飲んでもらっている。            |                                                                                                               |                   |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 言葉かけや見守り、またはできない方への手伝いなど、把握し、支援している。習慣化されてない方への言葉かけや支援方法に苦労している。                                         |                                                                                                               |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている   | 排泄のリズムをつかむよう情報を集めたりしてその人に合わせたパットの種類や誘導の仕方に配慮している。失敗してもさり気なく、済ませられるように対応している。排泄時の一連の行動にできる部分を職員で情報共有している。 | 介助が必要な方も多く、チェック表を使いながら声掛けによる誘導等、トイレでの排泄を支援している。また、一人ひとりの排泄リズムやサインを職員間で共有することで、タイミングを見逃さないように自立に向けた対応を行っている。   |                   |



| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                         | 自己評価                                                                           | 外部評価                                                                                                                     |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                           | 実践状況                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 薬に頼るだけでなく、運動・果物・乳製品、水分補給など取り入れている。                                             |                                                                                                                          |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴剤も使用したり、季節毎の湯(しょうぶ湯・ゆず湯など)も楽しんでもらっている。本人の希望に沿って入浴方法や安心して入浴が出来るような対応をしている。    | 1日おきに入浴される方やシャワー浴で済ませる方など、個々の希望に合わせた方法と回数で予定を立てながら、その時々で調整している。拒否のある方は無理強いせず、誘い方を工夫する等、職員同士で連携を取り合いながら、入浴を楽しめるように支援している。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 個々のペースや習慣で安心して休息・午睡してもらえるようにしている。                                              |                                                                                                                          |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 個々のケース内に服薬に関する説明書をファイルし、職員がいつでも確認できるようにしている。服薬支援は、飲み込みまで確認するようにしている。           |                                                                                                                          |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 手先の作業や、たたみ物など、その人の力が発揮されるような仕事をお願いしている。職員も参加し、会話したりしている。ねぎらいの言葉がけを忘れないようにしている。 |                                                                                                                          |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 本人の希望や気分転換など、買い物やドライブに誘いかけ実施している。                                              | 年間行事計画の中で外出の機会を作り、日常的に散歩や近所のコンビニへお菓子を買に行くなどの支援を行っている。日曜日は入浴の予定が無い場合、ドライブに出かけたりしている。天気の良い日はテラスに出て外の空気を感じてもらうなどの工夫に努めている。  |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                                                      | 外部評価                                                                                                                                      |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                                                      | 実践状況                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 個人の管理できる範囲の所持金のある方もいる。、近所のコンビニに職員と買い物に出かけることもある。                                                                          |                                                                                                                                           |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 手紙やハガキ・贈り物が届き、お礼の電話をかけたり、時には声が聞きたくなったといわれる方に、家族や親せきとやりとりできるよう支援している。                                                      |                                                                                                                                           |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | テレビの音量について共有のスペースでは難しい。壁面飾り等でも季節を感じてもらえるようにしている。カーテンでの光、温度、湿度には配慮し、こまめに調節したり気にかけているが個々の思いや感じ方に差がありすぎて居心地の良さや工夫が中々かなえられない。 | リビングは季節感のある貼り絵の作品が飾られ、自然の採光が入り明るい空間となっている。ソファや食席は外の景色が眺められるような配置にしている。一人ひとりの好みに合わせた調整は難しいが、足元が寒いという声に合わせてホットカーペットを敷くなど、希望に寄り添えるように対応している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 自分の思いを職員が汲み取れるよう配慮している。一人で過ごせる場所に椅子を置いたり、ソファでくつろいで頂いている。落ち着く場所のある方もいるため確保できるようにしている、                                      |                                                                                                                                           |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 自分のお部屋という安心感を持って頂き、家族や親せきの方々の写真などが飾られたり自分好みにアレンジしたりできるようにしている。                                                            | 居室には家庭的なタンスとベッドが備え付けであるが、持ち込みも可能となっている。認知症の症状により制限のある方も居られるが、使い慣れた馴染みのある物や家族写真を飾るなどして、その人らしく過ごせる居室づくりを支援している。                             |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 一人一人の分かる力と、できる力を把握して、都度整えたり必要な物をそろえるようにしているが、混乱が生じた時には、丁寧に繰り返し説明したり、何が原因なのかを探り、相談し、手立てを考えるようにしている。                        |                                                                                                                                           |                   |